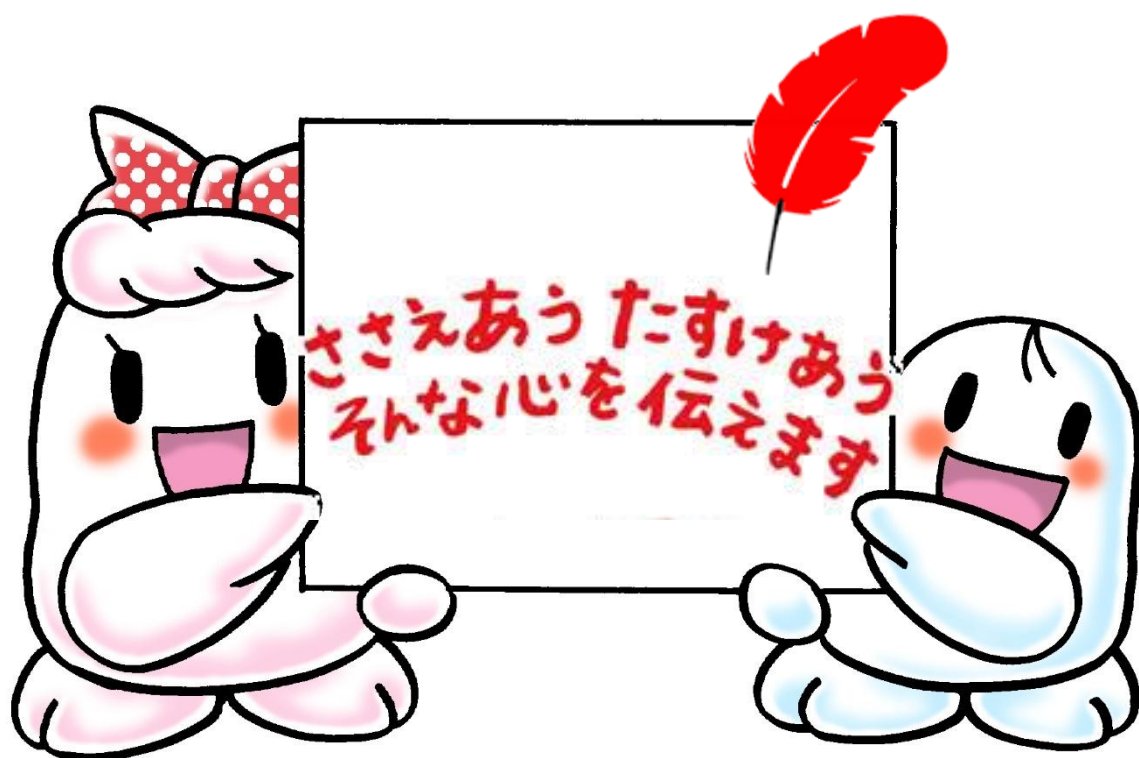


令和7年度（令和6年度募金）

隠岐の島町共同募金委員会

助成事業報告書



令和8年5月

島根県共同募金会 隠岐の島町共同募金委員会

住みよい地域づくり推進プロジェクト助成 事業一覧

実施団体	助成区分	団体名	事業名	頁
隠岐の島町共同募金委員会	安心づくり助成	① 西郷中町町内会連合会	子供防災町内巡回	1
		② 岬町区	向う三軒両隣事業	2
		③ 有木ほたる村	冬のほたる（イルミネーション点灯）	3
		④ 布施イルミネーション実行委員会	布施イルミネーション&点灯式	4
		⑤ 山田どっこい会	地域ふれあい推進事業	5
		⑥ 南方自治会	南方区防災計画	6
		⑦ 青年学級交流会	青年学級交流事業	7
		⑧ 島根県断酒新生会 隠岐支部	酒害者支援・予防事業	8
		⑨ 隠岐地区里母のつどい	勉強会・交流会	9
		⑩ 緩和ケアサロン隠岐たんぽぽ	がん体験者とその家族の交流	10
		⑪ いその香	配食を通じたつながり活動	11
		⑫ 隠岐の島町婦人会	地域の居場所「みんなの食堂」の開催	12
	交流づくり助成			13
	ふれあいサロン助成			14
	社会福祉協議会助成			15

※報告書内 自己評価・・・事業を実施した団体の自己評価

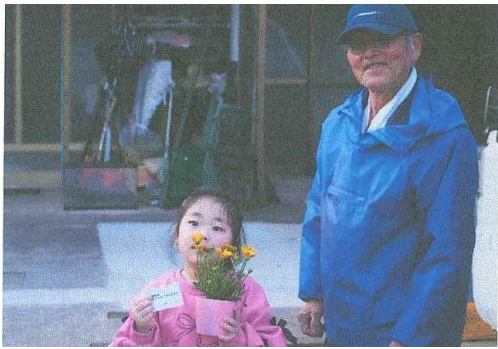
【目標以上の成果 / 目標どおりの成果 / 目標どおりの成果を得られなかった】

団体名	西郷中町町内会連合会	事業名	地域防災活動
実施内容	一、災害時要支援者の住居を確認しその支援方法と避難経路を歩いた。AEDの使用 方法についても実施訓練を行った。 二、消火栓を使用して、初期消火による類焼の阻止と犠牲者の未然防止のための 技術習得を行った。 一、二ともに男女同数程度の参加をみた。 第27回中町前期防災訓練実施要領 ～AEDの使い方と災害時避難誘導・避難支援の手順の確認～ 主 催 西郷中町町内会連合会 参加協力 西郷中町町内会連合会えんつくりの会 西郷中町町内会連合会警備防犯会 消防組合 消防組合 消防組合 消防組合 消防組合 消防組合 日 時：2025年6月8日(日) 午前9時30分 場 所：第1会場 中町集会所2階 第2会場 三・四・五町内地内 第1セッション ◎4人一組でトレーニング機材を使って練習します。 もしも 誰かが倒れたら・・・ AEDと心肺蘇生の手順を覚えよう - 倒れた人の反応を見よう＝声を掛けて肩を叩こう - 大きな声で助けを呼ぼう＝貴方はAEDを 貴方は119番を - 呼吸の確認をしよう＝胸と腹を見て - 無呼吸だったら10秒以内に胸骨圧迫をしよう ＝5cm位胸が沈むまで抑える 1分間100回から120回 - AEDの電源を入れ音声に従おう 胸骨圧迫は絶え間なく継続 - AEDで電気ショック 音声に従って触れよう - 胸骨圧迫をしよう＝救急隊が来るまで6と7を繰り返す 第2セッション 予期せぬ突然の災害に見舞われたら・・・ 自分と地区の人の命を守るため 避難活動の手順を覚えよう 《ケース1》 - 中町地区内放送＝召集放送 - 指定場所に参集 1戸別訪問＝今回の訓練対象地区 3、4、5町内 2地区内巡回放送＝ハンドスピーカーで避難の呼びかけ 3要支援者への助力や搬送 3-4避難路誘導＝避難経路で住人を誘導 4登坂路の場合、登り口で手助けを 《ケース2》 - 中町地区内放送＝避難指示放送 - 可能であれば要支援者の助力と近所に声掛けてして直ちに避難 - 登坂路の場合、登り口で手助けを ▲防災活動の様子		
実施してよかった点や課題点	命の大切さと防災意識の向上に寄与することが出来ました。また、防災・消防技術の確認もすることが出来、技術や知識上の問題点も共有しました。	助成額	50,000円
		延べ参加者数	83名
		自己評価	目標通りの成果
ありがとうメッセージ	共同募金のおかげで継続して防災訓練を続けることが出来 ています。 心からお礼申し上げます。これからもよろしくお願いいたします。 します。		

団体名	岬町区	事業名	向う三軒両隣事業
実施内容	・ 岬町は4ブロックに分け評議員12名小組長14名を配置し、活動に従事している。独居者や高齢者宅の見回り状況を総会時や役員会時に声掛け実態を確認している。島外移住や介護施設、入院が多くなっている。 ・ 岬町は「隠岐島空の玄関口」との意識を持っていて、幹線道路の美化意識を持ち4月～10月の間4回以上の草刈りを毎回100人以上の参加で実施している。その他数名の区民は自主的に路肩の雑木伐採を無償作業で美化に努めている。 ・ 隠岐の伝統文化を守ろうと、花見会、盆踊り、運動会等を継続実施し、各100人以上の参加で区民の親睦を図っている。 ・ 小グループから「しゃべらあ会」「わわわの歌会」を毎週実施し、区内の情報交換を継続実施している。		
	  ▲運動会の様子 ▲綺麗になった隠岐島空の玄関口		
実施してよかった点や課題点	区外からの移住者が多く諸々の交流事業を実施することで、顔見せ、親睦を図っている。区には若い世帯が多く、区活動に参加してもらえよう、一層の努力が必要と考える。	助成額	50,000円
		延べ参加者数	500名
		自己評価	目標どおりの成果
ありがとうメッセージ	昨年の支出決算額は330万となっており、増加傾向にある。多くの住民参加を募ると出費も増え、よりよい活動をするには収入を増やす必要がある。「赤い羽根募金」助成金は十分に助成していただいている。感謝いたします。		

団体名	有木ほたる村	事業名	冬のほたる（イルミネーション点灯）
実施内容	・有木地区内の各家庭にイルミネーションを点灯してもらい“寒い冬を地域も心も温かくしよう” ・今年度は新たに「高齢者学級」と共催させて頂くことができ、活動がよりスムーズにできました。   ▲高齢者の方とイルミネーションを設置		
実施してよかった点や課題点	・地域内の連携ができる。 ・特に高齢者にとっては“地域の一員として協力できた”と喜んでもらえました。 ※今年度は「高齢者学級」と一緒にできてとても良かった。 今後こうした連携を探っていきたい。		助成額
			50,000円
ありがとうメッセージ	少子高齢化が進む中、地域力が弱くなってきていますが、この活動が“地域内の連携づくり”の一助となっています。とても有難く感謝しています。		延べ参加者数
			45名
			自己評価
			目標以上の成果

団体名	布施イルミネーション実行委員会	事業名	布施イルミネーション&点灯式
実施内容	地域有志が集まった実行委員会メンバーにより、11/18 打合せ(5名) 11/30, 12/13 イルミネーション設置(27名) 12/22 ミニ点灯式(14名) 1/18 撤去(13名)までを行う。 今回点灯当日の点灯式はできなかったが、後日放課後子ども教室にて北小児童による「ミニ点灯式」を行う。点灯前に、事前に手作りしたサンタ帽のプレゼントを一人暮らしの高齢者約20名へお届けし大変喜んでもらった。		
	  ▲手作りプレゼントを高齢者にお届け ▲子どもたちによるミニ点灯式		
実施してよかった点や課題点	・若いメンバーの意見を大切にしている。考えが形にできたことで、モチベーションも上がり、さらに自分事として考え、動いてくれるようになったと感じる。 ・寒い中での設置作業を手伝ってくれるメンバーをねぎらいたくて、昼食の炊出しも有志にお願いしている。スタッフ同士の交流もとても良い雰囲気になっている。いろいろな面から地域の協力を感じる。 ・小学生の到着を、お返しの準備をして楽しみに待ってくれる高齢者もおられた。子どもたちはプレゼントだけでなく、地域に元気を届けてくれた。 ・今回は準備期間が短く点灯式ができなかったが、無理をしすぎないことも継続のためには必要だと感じた。		助成額
			50,000円
			延べ参加者数
ありがとうメッセージ	認知度が上がり、今回も多くの方が見に来られ「とても良かった」と声をかけていただき、スタッフ一同のモチベーションもあがっています。13年間毎年継続できているのは、この共同募金のおかげでもあり、町内の皆さまに有効に還元できたのではないかと感謝しております。ありがとうございました。		約60名
			自己評価
			目標どおりの成果

団体名	山田どっこい会	事業名	地域ふれあい推進事業
実施内容	1. 毎月誕生日を迎える幼児、小中高生並びに75歳以上の方に、どっこい会会長と区長が自宅を訪問し、メッセージカードとお祝いの花束を届けました。 2. 亥の子祭、敬老会を70歳以上の方を対象に11月初旬に開催し、手づくり料理と工夫を凝らした演芸でもてなしました。 3. 4月上旬の週に花見と称し、子どもからお年寄りまでの異世代間の交流を行いました。 4. 女性陣による味噌作り教室を行いました。 5. 郷土を愛し、郷土愛を育むための郷土発見事業を行いました。		
	 ▲誕生月の花束プレゼント活動  ▲世代間交流のお花見		
実施してよかった点や課題点	昨年まで行っていた夏祭り交流会に変えて、花見を実施しました。実施場所の桜の木の下で、大勢の区民の皆さんが参加され楽しみました。		助成額
			50,000円
			延べ参加者数
ありがとうメッセージ	共同募金寄付者の方々には、いつもお世話になっております。皆様方のおかげで今年度も事業を行うことが出来ました。心より感謝申し上げます。		自己評価
			目標通りの成果

団体名	南方自治会	事業名	南方区防災計画
実施内容	南方地区の防災計画として自治会理事8名及び消防班班長と災害時の避難計画について令和7年6月から南方集落センターにて何度か協議を行い避難指示の自治会としての対応について確認及び協議をした。 ▲災害時の避難計画協議の様子		
実施してよかった点や課題点	災害時には何が必要か、突発的な要因も考えながら進めていかなければならないと思います。避難困難者も随時確認しながら人命を第1に今後も進めていきたいと思っています。	助成額	
		50,000円	
		延べ参加者数	
		25名	
ありがとうメッセージ	本年度も新たな備品の補充ができ感謝しています。今後も自治会として地区住民の協力ができればと思います。ありがとうございました。	自己評価	
		目標どおりの成果	

団体名	青年学級交流会	事業名	青年学級交流事業
実施内容	8月23日(土)“暑い夏を乗り切ろう！ミニ納涼祭”と題し、みんなの作業所利用者、仁万の里活動班、在宅（一般就労含む）・グループホーム利用者に参加を呼びかけ夕方より開催しました。当日は唐揚げ・焼き鳥・焼きそばに他3品の屋台コーナー、射的・輪投げ・ポイすくいのゲームコーナーを設け、また室内の飲食スペースにはプロジェクターを設置し動画を流すなど個々に合った時間を過ごせるように工夫しました。個々の場所で楽しんでいる姿や、談笑する場面を垣間見ることができました。		
	  ▲ミニ納涼祭の様子		
実施してよかった点や課題点	島内では花火大会や余市など今年もわくわくするようなイベントがありましたが、交通手段だったり支援員の対応がない開催時間など、行きたいけれどいけない方にも夏を楽しんでもらいたく、納涼祭を計画しました。限られた内容・時間ではありましたが、参加者から“楽しかった”と言ってもらえたことが何よりうれしく思いました。今回の内容を活かし、かたちにとらわれることなく余暇活動を提供していきたいと思います。	助成額	
		50,000円	
		延べ参加者数	
		94名	
ありがとうメッセージ	青年学級交流会は、障がいのある方たちへの余暇活動を目指しています。今回ミニ納涼祭と題し、屋台やゲームコーナーを設け夕方の時間から開催しました。総勢94名の方が集まり、お祭り気分で会話も弾むなどとても有意義な時間を過ごすことができました。共同募金にご協力いただいた皆様のおかげです。ありがとうございました。	自己評価	
		目標どおりの成果	

団体名	島根県断酒新生会 隠岐支部	事業名	酒害者支援・予防事業
実施内容	断酒例会を月5回×12回(インフルエンザ、大雪の為2回中止)実施しました。 場所は隠岐の島文化会館2回、太陽、都万中里集会所、役場五箇支所にて実施 参加対象は酒害者、酒害者家族、太陽通所者・職員、支援員等 ①月5回の例会で酒害者、酒害者家族が体験談を話し断酒継続につなげました。 ②隠岐保健所主催の酒害相談が島前地区で1回あり酒害家族が参加 12/11実施 ③隠岐保健所主催のはればれ部会に参加し、取り組みを共有しました。 酒・タバコ啓発街頭キャンペーンをサンテラスで行い、高校生等とちらし配りに参加しました。 ④定例場の都万中里集会所に年2回花を植え社会貢献に努めました。   ▲例会の様子 ▲プランターへの花植え		
実施してよかった点や課題点	・高齢化が進み、病気等で参加者が少ないながら1年間継続して活動することができた。 ・隠岐病院の医師、研修医、看護学生の方に参加いただいた。 ・都万地区の民生委員の方には、年間通して参加いただき感謝しております。 ・たくさんの支援者の方に支えていただき、今後も酒害啓発に取り組んでいきます。	助成額	50,000円
		延べ参加者数	222名
		自己評価	目標どおりの成果
ありがとうメッセージ	皆さんの募金のおかげで1年間活動することができました。あったかい心に感謝、感謝です。ありがとうございました。		

団体名	隠岐地区里母のつどい	事業名	勉強会・交流会
実施内容	○情報交換(随時) 子育てに関して気になったことや疑問に思っていること等を話し合った。適宜児童相談所職員に相談した。 ○交流会 時期：8月 場所：都万スポーツセンター及び町内施設 対象：会員の里親家庭及び会員でない里親家庭 参加者：8名 内容：シーカヤックを体験し、親子で全身を動かしながら自然に触れるという、日常では体験できないことを経験し楽しむことができた。 昼食後、大人同士で子育てに関する情報交換と近況報告会をした。その間子どもたちはグラウンドで遊び楽しい時間を過ごした。 最後はドライブをして隠岐の島の観光名所を巡りまだ知らない隠岐の魅力を伝えることができた。 ○ミニお話し会 時期：2月 場所：会員宅 対象：会員及び会員でない里親家庭、その他一般の方 参加者：7名 内容：看護師の森さんをお招きして自身の子育て経験談をお話していただいた。感性豊かな子どもへの対応やひとり親での子育ての困難な実情を聞き、今後子育てに悩む方へどのような支援が必要か話し合う場となった。  ▲ミニお話し会の様子  ▲交流会の様子		
実施してよかった点や課題点	子どもたちにとって普段できない新しい経験の機会となり、とても良い時間となりました。また、里親たちにとっても、日頃の悩みや思いを安心して話せる場所となり、このような交流の大切さを改めて感じました。 里親となる人を増やすため、引き続き児童相談所や関係機関の方々と連携しながら里親制度の周知や会員の募集に努めていきたいです。	助成額	50,000円
		延べ参加者数	15名
ありがとうメッセージ	里子たちにとって新しい体験ができる良い機会になったこと、里親たちの日頃の子育てに対する思いを安心して話せる場になったことに感謝申し上げます。	自己評価	目標どおりの成果

団体名	緩和ケアサロン隠岐たんぽぽ	事業名	がん体験者とその家族の交流	
実施内容	毎月2回1日と16日に2時間程 がん患者としての悩み、その家族を支える人たちの苦悩等話して交流してきました。			
	  ▲サロンの様子			
実施してよかった点 や課題点	今年は新たに参加された人も数名おられました。サロンで話すことで気持ちも楽になられサロンに参加してよかったとの感想もありました。 病院のまめなかのまつりでは、シトラスリボンを作成して来場者に配布しました。 4月には研修医の方が寄ってくださいましたし6月は看護大の学生4名も参加されました。		助成額	
			50,000円	
			延べ参加者数	
ありがとう メッセージ	助成金もあり充実した活動が実施できました。 共同募金にご協力いただいた皆様本当にありがとうございました。		60名	
			自己評価	
			目標以上の成果	

団体名	いその香	事業名	配食を通じたつながり活動
実施内容	実施期間：令和7年5月～令和8年3月（8.9.1月は休み） 対象者：主に高齢者で食事の準備が困難で配食を希望される方（津戸区を中心とする都万地区内） 内容： 1. スタッフ、地区のボランティアで手作り弁当を配布（ご飯入りとおかずのみの2種類） 5月1回、6月3回、7月2回、10月3回、11月3回、12月2回、2月1回、3月3回、計18回 2. 弁当配布に合わせた声かけ運動 ※物価の高騰に伴い年度途中より弁当料金の見直しを行い1個600円で提供した。津戸区外の方からも配食希望があった。都万地区内を中心に活動を行うことができた。		
	  ▲配食活動の様子		
実施してよかった点や課題点	今年度も活動を継続することができ、地域にも定着した活動になりました。都万以外からもお弁当を取りに来られたり、弁当を心待ちにして喜んでくださる皆さんのおかげで、私たちも元気を頂き、とても励みになっています。物価の高騰により影響を受けておりますが、工夫を凝らしながら活動を続けていきたいと思っています。		助成額
			50,000円
			延べ参加者数
ありがとうメッセージ	配食を通じて、地域の方々とのつながりがより深めることができ、たくさんの方々に喜んでいただきました。共同募金にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。		571名
			自己評価
		目標どおりの成果	

団体名	隠岐の島町婦人会	事業名	地域の居場所「みんなの食堂」の開催
実施内容	子ども食堂「みんなの食堂」を、令和7年4月から令和8年3月まで、計11回開催しました。参加者数は（スタッフ含め）延べ275人となりました。 毎月文化会館で開催していますが、11月は気になる高齢者の方や、いつも野菜などの差し入れを下さる方へお弁当の配食も行いました。 毎回、遠方から親子で参加される世帯、大雪の中参加いただいた高齢者や家族連れの方などとお話をしながら、地域になくてはならない大事な居場所となってきたのを感じています。 スタッフは毎回7名程度で対応しており、参加する子どもたちや地域の方の笑顔を力に、活動を続けています。		
実施してよかった点や課題点			助成額
			50,000円
			延べ参加者数
			275名
ありがとうメッセージ	みんなの食堂を始めて4年が経ちました。子どものため、地域のために活動を続けています。続く物価高騰により、とても頭を悩ませていますが、様々な工夫を凝らしながら活動を続けていきます。 会場施設ではおむつ替えのスペースがあるのにもかかわらず知られていませんでしたが、張り紙にて周知していただくことになりました。 これからも、誰でも来れる居場所として続けていきたいです。		自己評価
			目標どおりの成果

実施内容	【実施団体】 16団体（自治会区：14団体、公民館分館：2団体） 【活動内容】 申請事業を実施：16団体 敬老会、交流会等：15 手作り料理の配食活動：1  ▲下西分館 (敬老会)  ▲浜那久区 (敬老会の手作り弁当)				
評価	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td data-bbox="327 1238 1118 1344" rowspan="3">感染症の予防として敬老会を中止し、弁当折りや記念品等の配布に切り替えた団体もあったが、敬老会を開催する団体も多かった。</td><td data-bbox="1118 1238 1402 1335">助成額</td></tr> <tr> <td data-bbox="1118 1335 1402 1438">592,200円</td></tr> <tr> <td data-bbox="1118 1438 1402 1541">延べ参加者数</td></tr> </table>	感染症の予防として敬老会を中止し、弁当折りや記念品等の配布に切り替えた団体もあったが、敬老会を開催する団体も多かった。	助成額	592,200円	延べ参加者数
感染症の予防として敬老会を中止し、弁当折りや記念品等の配布に切り替えた団体もあったが、敬老会を開催する団体も多かった。	助成額				
	592,200円				
	延べ参加者数				
ありがとうメッセージ	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td data-bbox="327 1576 1118 1895" rowspan="2">助成団体からのありがとうメッセージ（抜粋）助成をいただきましたおかげで、地区の高齢者のみなさまの親睦ならびにつながりを深める機会を持つことができました。ありがとうございました。</td><td data-bbox="1118 1576 1402 1895" rowspan="2">16団体/846名</td></tr> <tr> </tr> </table>	助成団体からのありがとうメッセージ（抜粋）助成をいただきましたおかげで、地区の高齢者のみなさまの親睦ならびにつながりを深める機会を持つことができました。ありがとうございました。	16団体/846名		
助成団体からのありがとうメッセージ（抜粋）助成をいただきましたおかげで、地区の高齢者のみなさまの親睦ならびにつながりを深める機会を持つことができました。ありがとうございました。	16団体/846名				

実施内容	【実施団体】 36団体 【活動内容】 ①年間活動回数：548回 ②各サロンによって毎月実施する活動は様々 主な内容は、茶話会や会食、健康体操、バスハイク、手芸、各種講座等  ▲北方区 (北方かがやきサロン)  ▲加茂区 (加茂はつらつサロン)				
評価	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td data-bbox="327 1234 1118 1565" rowspan="3"> 多くのサロン団体が集合型での活動を行うことができた。 年を重ね、運転免許証を返納する代表者や世話人がいるサロンが見受けられ、今後の活動が心配される。 </td><td data-bbox="1118 1234 1402 1317">助成額</td></tr> <tr> <td data-bbox="1118 1317 1402 1400">900,000円</td></tr> <tr> <td data-bbox="1118 1400 1402 1482">延べ助成数</td></tr> </table>	多くのサロン団体が集合型での活動を行うことができた。 年を重ね、運転免許証を返納する代表者や世話人がいるサロンが見受けられ、今後の活動が心配される。	助成額	900,000円	延べ助成数
多くのサロン団体が集合型での活動を行うことができた。 年を重ね、運転免許証を返納する代表者や世話人がいるサロンが見受けられ、今後の活動が心配される。	助成額				
	900,000円				
	延べ助成数				
ありがとうメッセージ	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td data-bbox="327 1565 1118 1861"> 助成団体からのありがとうメッセージ（抜粋） 助成金をつかって年一回バスツアーをしたり、クリスマス会などのイベントを楽しむことが出来ました。ありがとうございました。 </td><td data-bbox="1118 1565 1402 1861">36団体/5791名</td></tr> </table>	助成団体からのありがとうメッセージ（抜粋） 助成金をつかって年一回バスツアーをしたり、クリスマス会などのイベントを楽しむことが出来ました。ありがとうございました。	36団体/5791名		
助成団体からのありがとうメッセージ（抜粋） 助成金をつかって年一回バスツアーをしたり、クリスマス会などのイベントを楽しむことが出来ました。ありがとうございました。	36団体/5791名				

実施内容

①救急医療情報シートの普及、啓発

自治会区長と民生児童委員宛てに協力依頼文を送付し、10地区35名の新規申請があった。新規で取り組んだ地区は2地区、民生児童委員からの問い合わせもあり、地域内での見守り活動の一助となった。

②ボランティア講座の開催

令和7年9月17日(水)に開催し、10名の方が参加された。障がいのある方への合理的配慮を動画で学んだ後、「手話サークルおき」に手話についての知識や挨拶や自己紹介の手話を体験してもらった。

③災害ボランティア講座の開催

令和7年10月24日(金)隠岐の島町と共催し、本町における災害対応等について説明頂いた後、多くの現場で復興支援に尽力するオフィス園崎の園崎氏を講師として招き講座を開催した。24名の参加があり、参加者から多くの意見、感想があった。

④サロンのつどいの開催

令和8年3月18日(水)サロンのつどいを開催した。隠岐の島町保健福祉課保健師による脳トレにもなる体操を実践してもらい、社協の所有するレクリエーションを体験してもらった。

⑤広報紙等による暮らしに役立つ情報提供

町内の福祉活動情報等を掲載した「社協通信」を年4回、全戸配布にて住民にお届けした。



▲ボランティア講座の様子



▲サロンのつどいの様子

評価

救急医療情報シートの配付により自治会区や民生児童委員を始め地縁組織を通じた地域での見守り活動につながった。また、各種講座の開催により、平時や災害時に地域で活躍できるような福祉を支える人づくりにもつながった。併せて、社協通信の配付により、情報が届きにくい世帯の方々にも各種制度やサービスの情報を届けることができた。

ありがとう
メッセージ

皆さまから頂いた募金を有効に活用させて頂き、住みよい地域づくりを推進することが出来ました。ありがとうございました。

助成額

289,588円

